

大分市立春日町小学校 学力向上プラン

取組番号②

学校教育目標	夢と希望をもって、心豊かにたくましく生きる児童の育成
育成を目指す資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ○つなげる(系統性を考えスパイラルに)指導・支援を工夫 ○自分の思いや考え書く・説明する活動 ○お互いのよさを理解し、協力し、よりよいものを創るために努力する(多様性を認め合う)

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ○自分の考えを文や言葉として表現するのが苦手としている。 ・多い分りやすく整理して文章に書く習慣が身につけていない。 ・言葉で表現する意欲はあるが、話す手順などが曖昧なため聞き手に伝わりにくい。	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・自分の考えを話したり、お互いの考えを聞き合ったりする場が必要 ・記述の時間の保障と記述方法の指導の充実が必要 ・学習内容をつなげる授業(既習内容や前時の振り返りを生かす)を進めることが必要
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・学び合い学習などにより、伝えることへの意欲は高まってきたが、伝える力(書く・話す)の向上を図る必要がある。 ・基礎基本の力を付けるため、春日タイムで国語と算数に取り組んできたが、定着状況にまだまだ個人差があり、研修や日頃の実践を通して個別最適な指導を模索する必要がある。 ・自分に自信をもてず、人と関わりながら学習できない児童がいる。学び合い学習に加えICTを活用した協働的な学びを進めていく必要がある。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・授業において考えを書く場を設定するとともに、書く内容と順序について児童の状況や発達の段階に応じた指導を行う。 ・個に応じた指導法の工夫や教師の授業力向上に向け、校内研修の提案授業を基に、授業改善の方策を協議し、共通理解を図った。 ・授業における振り返りの場面での書く力を高めるために授業改善を行ったことで、書く習慣が定着してきた。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・運動に親しみ、自ら運動できる子どもの育成を目指し、「運動・遊びを通じた走力の向上」に重点的に取り組んだ。取組状況に個人差はあるが、体を動かすことが好きな児童が増えてきているので、運動・遊びの精選を検討している。 ・春日タイムの基礎・基本の定着、ICT機器を活用した補充学習、家庭と連携した家庭学習指導等、個に応じた指導の充実にむけた取組を継続している。	

学力に関する達成指標

- 「単元末テストで80点以上の児童の割合を70%以上、50点未満の児童の割合を13%以下にする。」
- 「児童アンケートで『学校が楽しい』と答える児童のうち「とても楽しい」と答える児童の割合を50%以上にする」

今後の具体的な取組	【授業改善】	【家庭・地域との協働】
	〈授業改善のテーマ・重点〉 「認め合い、支え合いながら学ぶ楽しさを味わうことができる授業」 ・考えを書く場の設定(自力解決と振り返り)と記述方法の指導 ・ペア学習やグループ学習などによる学び合い	
	〈取組内容〉 ・春日タイムの活用と授業での自力解決・振り返りを通して書く習慣付けを行う。 ・学び合いにおいてペア学習やグループ学習を取り入れる。 ・学び合いの土台づくり(相手の考えを受けて話す、つないで話す、ICTを活用して伝える等)	〈家庭・地域の取組内容〉 「学習のきまり」をもとに、家庭学習について家庭での声かけをする。
	〈取組指標〉 ・「授業中、1回以上書く活動を設定する授業を継続している」と答える教員の割合を90%以上 ・学び合い学習において、「お互いの考えを伝え合う場の工夫をすることができた」と回答する教員の割合を90%以上 ・授業において、「全学年でめあてと連動した振り返りやポイントを押さえた振り返りを実施している」と回答する教員の割合を90%以上	〈家庭・地域の取組指標〉 家庭学習の習慣を付ける。 学習環境づくりに心がける。 (時間・場所)
	〈検証指標〉 ・「自分の考えや学んだことを書くことができた」と回答する児童の割合を85%以上 ・「学校の勉強は、楽しく、分かりやすい」と回答する児童の割合を85%以上 ・「お家での勉強(宿題など)をきちんとしている」と回答する児童の割合を85%以上	〈家庭・地域の検証指標〉 「子どもは、家庭学習の習慣がついている」と回答する保護者の割合80%以上
	【授業改善以外の学力向上の取組】 ・子どもが知恵を出し合い、自分たちで解決する授業の導入 ・少人数指導、習熟度別指導による学力の定着 ・ICT教材の活用した学習内容の提供やスキル学習の充実 ・朝活「春日タイム」を活用した書くスキルの向上と習慣付け ・フォローアップシート(国・算・理)による弱点克服のための学習 ・「読書タイム」を中心とした読書活動、図書館利用の推進	